



WINDING CROWN

WHERE WATER-RESISTANCE IS CROWNED WITH SUCCESS

リューズをケースにねじ込むように入れる。
このようにして、時計製造の歴史において初めて
防水性能を備えた腕時計が誕生しました。



WINDING CROWN

スクリュー式のリューズと裏蓋を備えたケースがオイスターを形成しています。1926 年に特許を取得した、この優れた防水設計は、ロレックス ウォッチに名声を与え、ロレックスのサクセスストーリーにおいて中心的な役割を果たしました。

INTERFACE BETWEEN TWO WORLDS

リューズは時計の主な機能を調整したり、直接、ムーブメントを作用させ、ゼンマイを巻き上げたりします。したがって、ケースの気密性を完璧にするためには、リューズの防塵性、防水性が極めて重要になります。このことから、現在のオイスターウォッチにはロレックスが開発した2つのシステムのうちのどちらかが搭載されています。

- トウインロック リューズ

1953 年に発表されたトウインロックシステムは、チューブ内とリューズ内に設けられた 2 つの密閉箇所により、スクリュー式リューズの完全な防水性能を保証します。この原理はオイスターコレクションの 100 m (330 フィート) までの防水性能を保証する全モデルに採用されています。トウインロックシステムは、リューズに施されたクラウンマークの下 の 1 つまたは 2 つのドット、または 1 本の横線で認識することができます。これらの印はリューズの材質によって異なります。

- トリプロック リューズ

1970 年に登場したトリプロックシステムは、チューブ内に 2 つ、リューズ内に 3 つ目の密閉箇所が設けられています。このシステムはサブマリーナー、シードウエラー、ロレックス ディープシーのダイバーズウォッチの防水性能を高めるために開発され、それぞれ水深 300 m (1,000 フィート)、1,220 m (4,000 フィート)、3,900 m (12,800 フィート) までの防水性能を保証します。今日、トリプロックシステムは他のいくつかのプロフェッショナルウォッチにも搭載されています。トリプロックシステムは、リューズのクラウンマークの下に施された 3 つのドットが目印です。リューズの材質によってドットの大きさが異なります。



WINDING CROWN

PRECISE AND RIGOROUS MANUFACTURING

約 10 個のパーツで構成されるリューズは、小さいながらも高度な技術が結集された傑作です。時計のケースやブレスレットと同様に、リューズは腕時計の外装を作るのと同等の知識や技術力のもと製造され、同じ精度と品質が求められます。使用されるのは最高の素材のみです。ガスケットにはポリマー、機械的およびデザイン的な要素には最高級のステンレススチールまたは貴金属が使われています。原料は押し出し成形やスタンピングにより形成され、その後、機械加工や研磨などの様々な工程を経て部品となり、その後の工程で組み立てられます。